

小学校第5学年 社会科学習指導案

1 単元名 工業の今と未来

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領第5学年2内容(2)「我が国の工業生産について、各種の工業生産や工業地域の分布などについて、分布図や統計資料を活用して調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。」にかかわる単元である。本単元のねらいは、工業地域の分布や各種工業生産の特色などを、地図や統計資料を活用して調べ、我が国の工業生産の特色を理解することができるようにするとともに、工業が盛んな地域の生産活動の様子を調べ、新しい技術の開発や資源の有効利用に努めていることをとらえることができるようにすることである。

(2) 児童観

児童は、前単元「食料生産を支える人々」の学習では、米づくりの盛んな地域を取り上げて、米づくりの過程や米づくりに対する思いや願いなどについて、資料から問題を発見したり事実を読み取ったりしながら自分の考えをもつとともに、これからの稲作についてどうすればよいか自分の考えをまとめる学習を行ってきた。

また、「世界とつながる自動車」の学習では、自作の学習カード「ナビカード」を活用して、資料を読み取る方法や自分の考えをまとめる方法を学びながら、世界との貿易の現状やこれからの貿易の在り方について考えを深めることができた。

1学期の「食料生産を支える人々」の学習や「世界とつながる自動車」の学習をとおして、次の二点が課題であると考えている。

ア 学習問題に対する予想を立てる際に、既習事項と関連させたり、根拠となる事実を基にし
ながら予想を立てることが難しいこと

イ 調べたことから新たな事実を発見したり、自分の考えをもったりすることができない児童
が見られること。

(3) 指導観

本単元においても、資料の正確な読み取りが学習のねらいを達成するための鍵となることから、統計資料（特に円グラフや帯グラフ、分布図）の読み取りに十分時間をかけながら、事実を読み取らせるように進めていきたい。また、学習問題の解決には、「予想する」活動も児童の追究活動には大切であることから、「予想する」活動では、ナビカードを活用しながら「予想の立て方」を指導しながら、予想を立てるための技能を身に付けさせたい。

追究活動では、調べたことを基に考えたことをグループで交流させながら、さらに自分の考えを深めさせるような話し合い活動を取り入れた指導を行っていきたい。

まとめる活動においては、工業の学習をとおして考えてきたことを基に「人々に喜ばれる工業製品を考えよう」を学習問題とした学習を展開していきたい。

3 単元の目標

(1) 日本で生産されている工業製品の種類や工業生産の盛んな地域、大工場と中小工場での生産の

違いについて調べ、日本の工業の現状や特色をとらえる。

- (2) 工業の発達と自分たちの暮らしの変化とのつながりを調べ、これからの工業生産の在り方について考える。

【社会的事象への関心・意欲・態度】

日本の貿易の特色や問題について関心をもって調べようとする。

【社会的な思考・判断】

日本の貿易の問題に気づき、貿易相手先とのかかわりをふまえた貿易の進め方について考えることができる。

【観察・資料活用の技能・表現】

地球儀を使って、世界各国の位置や日本からの距離・方位を調べ、互いに比べることができる。

また、主な輸出入品や貿易相手先、貿易額の推移などについて、自ら資料を選んで読み取り、その特色をまとめることができる。

【社会的事象についての知識・理解】

地図と地球儀の違いや、それぞれの特徴から、目的に応じた使い方を理解することができる。

また、のほんの貿易の特色や問題をとらえるとともに、自分たちの暮らしを支えている貿易をどのように進めていくことが大切であるのかを理解することができる。

4 単元の指導計画と評価規準

(1) 単元の指導計画

段階	ねらい	時間	学習活動と内容	ナビカードの活用の仕方
つかむ	身の回りにある工業製品を調べる活動を通じて、日本の工業の種類や特色について調べたいことをつかむことができるようにする	1	<ul style="list-style-type: none"> 工業製品の種類ごとに分ける。 日本でどんな種類の工業が盛んであるかを調べる 日本の工業の特色やこれからの工業について学習問題を設定する 	1 資料の読み取り方についての学び方を学ぶナビカード ・前単元で活用したナビカードや - 2 を活用して、資料の読み取り方を単元の導入時に確認する
追究する	日本の工業の盛んな地域をつかむとともに、土地の条件や交通網とのかかわりについて気付くことができるようにする 大工場や中小工場での生産の違いを調べることから、日本の工業の特色をつかむとともに、中小工場の抱える問題点や解決のための努力についてとらえることができるようにする 工業の発達によって、さまざまな工業製品が使われるようになり、人々の暮らしが大きく変わってきたことに気付くことができるようにする	3	<ul style="list-style-type: none"> 日本の工業の盛んな地域を教科書や地図帳で調べる 工業地帯や工業地域では、どんな工業が盛んであるか調べる 工業が盛んな理由を土地や交通の面から考える 工場の規模による工業生産の違いについて調べる 大工場と中小工場の生産の様子から、日本の工業の特色をまとめる 中小工場が抱えている問題点やそれを解決するために働く人々が、どんな工夫をしているか調べる 身の回りにある、昔や今の工業製品を見て、どのように変わっているか話し合う。 工業製品の変化によって、人々の生活がどのように変化したのか調べる 	2 資料を基に自分の考えをまとめる方法についての学び方を学ぶナビカード ・学習問題を追究する場面で、ナビカード - 1 及び - 2 を活用して、予想の立て方や資料収集の方法、資料の比較・検討の方法を単位時間の導入時に指導する ・自分の考えをまとめる場面では、ナビカード - 3 を活用して、自分の考えを発表原稿にまとめさせる。さらに、裏面を使って、友達の考えを参考にしながらまとめさせる
まとめる	これからの工業生産をどのように進めていけばよいかについて、具体的な資料を使って話し合うことができるようにする	1	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学習したことの中から、関心のあるテーマについて資料を集め、これからの工業生産の進め方について、自分の考えをまとめる 	3 資料活用にかかわる学び方を振り返るナビカード ・前単元で活用したナビカードも参考にしながら、記入させるようにする

(2) 評価規準

時間	ねらい	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
1	身の回りにある工業製品を調べる活動をおして、日本の工業の種類や特色について調べたいことをつかむことができるようにする	日本の工業について、盛んな地域や工業の種類、工場の様子など、様々な視点から調べたいことを見つけている			
2	日本の工業の盛んな地域をつかむとともに、土地の条件や交通網とのかかわりについて気づくことができるようにする		工業地域や工業地帯の広がりについて、地理的・社会的条件とかわらせて考えることができる		日本の主な工業地域や工業地帯の分布の特色が分かる
3	大工場や中小工場での生産の違いを調べることから、日本の工業の特色をつかむとともに、中小工場の抱える問題点や解決のための努力についてとらえることができるようにする			工業生産の違いや工業の特色を資料から読み取ることができる	中小工場が、働く人の努力や高い技術力などで、日本の工業生産を支えていることが分かる
4	工業の発達によって、さまざまな工業製品が使われるようになり、人々のくらしが大きく変わってきたことに気づくことができるようにする		くらしや産業における工業の発達や工業製品の普及の利点を考えることができる	写真やグラフ資料を基に人々のくらしの変化や便利になってきた様子を読み取ることができる	
5	これからの工業生産をどのように進めていけばよいかについて、具体的な資料を使って話し合うことができるようにする		これからの工業生産と自分たちのくらしについて、収集した資料を基に考えることができる	人々に喜ばれる工業製品について考えたことをシートにまとめることができる	

【工業の今と未来】展開案（1 / 5）

(1) ねらい

身の回りにある工業製品はどんな物があるか調べ、日本の工業の種類や特色、これからの日本の工業の在り方について、学習テーマや学習課題を立てることができるようにする。

(2) 展開

段階	学習活動と主な発問	指導上の留意点	主な資料
つかむ	<p>1 広告のチラシを使って、工業製品の種類ごとに分ける。</p> <p>2 日本の工業の特色について調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 工業の種類は、重化学工業と軽工業に分かれることや大きく6つの種類に分けられることをとらえさせる。 まとめた表や資料をもとにどんな工業が盛んに行われているか調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 広告のチラシ 日本の工業生産額の変化を表したグラフ
追究する	<p>3 1と2の活動から考えたことをもとに、学級全体の学習テーマと学習課題を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(テーマ)</p> <p>・日本の工業のひみつをさぐる</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(学習課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場がたくさんある場所は、どこか。 日本の工業の特色は何か。 工業製品の変化と人々のくらしの変化について。 </div> <p>4 学習計画を立てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 工業製品はどこで作っているのか、これからどんな工業が発達していくのかなど、児童から出された疑問をもとに、日本の工業の特色やこれからの日本の工業についての学習テーマと学習課題を立てる。 ナビカード 学習課題の立て方について、想起させる。 計画が立てられない児童には、前単元で活用したナビカードを参考にしながら、課題解決までの見通しをもたせるようにする。 	
まとめる	<p>5 学習の振り返りをする。</p> <p>6 次時の学習内容を知る</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本の自動車の輸出の変化をもとに、学習課題の立て方についてまとめる。 学習課題を解決していくことを知らせる。 	

【工業の今と未来】展開案（ 2 / 5 ）

(1) ねらい

日本の工業の盛んな地域をつかむとともに、盛んな地域と土地や交通の条件が関係していることのできるようにする。

(2) 展開

段階	学習活動と主な発問	指導上の留意点	主な資料
つかむ	1 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">工場がたくさんある場所って、どんな所だろう。</div>		
追究する	2 今までの学習をもとに、工場がどこにあるかを予想する。 3 資料をもとに、工場がどんな場所に多くあるのかを調べる。 4 なぜその地域が、工業が盛んなのか、理由を考える。	<ul style="list-style-type: none"> 自動車は、船で輸送されていることから、海沿いではないか、働く人口が多いところに工場がたくさんあるだろうなど、今までの学習や見聞きした経験したことをもとに、予想を立てさせる。 ナビカード 予想の立て方について、想起させる。 ナビカード 資料の比べ方について、想起させる。 教科書や地図帳にある資料を関連させながら、「どこでどんな工業が多いか」を調べ、工業地域の特色をとらえるようにする。 海沿いは原料や製品の輸送が便利であることや交通網の発達より内陸部や東北地方にもたくさんの工場があることなど、土地や交通の条件が関係していることを写真資料や分布図などを活用しながら考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本地図 白地図 工業地域別の生産額を表したグラフ 工場が広がる場所を示した写真
まとめる	5 学習の振り返りをする。 6 次時の学習内容を知る	<ul style="list-style-type: none"> 工業が盛んな地域について学級全体でまとめる。 日本の工業の特色について調べていくことを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大工場と中小工場の数の割合を表したグラフ

【工業の今と未来】展開案（ 3 / 5 ）

(1) ねらい

大工場と中小工場での生産の違いを調べることから、日本の工業の特色をつかむとともに、中小工場の抱えている問題点や解決のためのさまざまな努力についてとらえることができるようにする。

(2) 展開

段階	学習活動と主な発問	指導上の留意点	主な資料
つかむ	1 工場の規模による工業生産の違いについて調べる。 2 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">日本の工業の特色は、何だろう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> 大工場と中小工場を比べながら、工場の規模別の特色をつかむようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 工場の規模別にみた工場数・働く人数・生産額を表したグラフ
追究する	3 中小工場は工場数が多いが、生産額の割合が大工場よりも少ない理由を考える。 4 課題についての考えをグループで発表し合い、自分の考えを深める。	<ul style="list-style-type: none"> 自動車工場の生産の様子や関連工場との結びつきの学習など、前時までの学習を想起させ、関連工場のほとんどが、中小工場であることと結びつけて考えさせる。 生産額が少ない理由の一つとして、中小工場の抱える問題点があることを、資料からとらえさせる。 ナビカード を活用して、グループ発表で参考となる友だちの考えをメモしたり、考えを修正したりしながら、自分の考えを深めるようにさせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> グループで発表する 考えを修正する 考えをまとめる </div>	<ul style="list-style-type: none"> 工場の規模別にみた各工業の生産額・中小工場に働いている写真 1年間の一人当たりの生産額を表したグラフ
まとめる	5 学習の振り返りをする。 6 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 日本の工業の特色について、学級全体でまとめる。 工業生産の変化と私たちの暮らしとの結びつきについて学習することを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日用品の変化を示した写真資料

【工業の今と未来】展開案（４／５）

(1) ねらい

工業の発達によって、さまざまな工業製品が使われるようになり、人々のくらしが大きく変わってきたことに気づくことができるようにする。

(2) 展開

段階	学習活動と主な発問	指導上の留意点	主な資料
つかむ	1 身の回りの工業製品の移り変わりについて、気づいたことを発表する。 2 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 工業製品の移り変わりによって人々のくらしは、どのように変わってきたのだろう </div>	・ 4年生での学習を想起させたり、昔の工業製品を提示したりしながら、身の回りにある工業製品が変化していることに気づかせる。	・ 昔の工業製品（日用品、ゲーム）
追究する	3 工業の発達によって、人々のくらしがどのように変わってきたのかを調べる。 4 考えを発表し合い、自分の考えを深める。	・ 写真やグラフ資料をもとに、作業時間の軽減、快適さ、便利さ等、工業製品の発達によって、人々の生活が便利になってきたことをとらえる。 ・ グループで話し合い、工業の発達と人々の生活の変化について、自分の考えをまとめることができるようにする。 ・ 工業の発達による問題点についても気づかせるようにする。 ・ ナビカードの自分の考えをまとめる方法を振り返る。	・ パソコンやテレビゲームをしている児童の写真 ・ 携帯電話やパソコンの普及台数の変化を表したグラフ ・ ナビカード
まとめる	5 学習の振り返りをする。 6 次時の学習内容を知る。	・ 工業製品の移り変わり与人々のくらしの変化について、学級全体でまとめる。 ・ 今までの学習をもとに、これからの日本の工業生産は、どのように進めていったらよいかについて考えていくことを知らせる。	・ 工業の発達によるよさや問題点にかかわる写真資料（バリアフリー製品、捨てられた自動車、リサイクル製品など）

【工業の今と未来】展開案（ 5 / 5 ）

(1) ねらい

これからの工業生産をどのように進めていくことが大切かについて、具体的な資料を提示しながら話し合うとともに、課題に対する考えをまとめることができるようにする。

(2) 展開

段階	学習活動と主な発問	指導上の留意点	主な資料
つかむ	<p>1 工業生産について、児童が抱えている疑問や問題点を発表し合う。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 人々に喜ばれる工業製品を考えよう。 </div>	<p>・ 児童が抱えている疑問や問題点のなかから、未来の工業生産にかかわる内容を学級全体の課題となるように方向付けるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p>児童が抱えている疑問や問題点</p> <p>(1) これからの工業製品は、どんな物が人々に喜ばれるか。</p> <p>(2) 日本の貿易は、これからどうなるのか。</p> <p>(3) 海外生産は増え続けるのか。</p> <p>(4) なぜ、日本海側に工業地域が発達しないのか。</p> <p>(5) 機械工業がこれからも増えていくのか。</p> </div> <p>・ 便利さや快適さなど、工業製品の発達とともに、人々の生活が豊かになってきた面と、それとは反対にゴミ問題など、いくつかの問題点も出てきていることに目を向けながら、これからの工業生産を考えていくようにする。</p>	<p>→ P108写真 P76資料集</p> <p>→ P94・95、 P97グラフ</p> <p>→ P92・93グラフ</p> <p>→ P100グラフ P68資料集</p> <p>→ P98、100グラフ</p>
追究する	<p>3 資料をもとに、課題についての自分の考えをもつ。</p> <p>4 考えを発表し合い、自分の考えを深める。</p>	<p>・ 教科書や準備した資料を使って、資料からわかったことをもとに、これからの工業生産についての自分の考えを書かせる。</p> <p>・ 便利さや快適さだけでなく、今抱えている問題点を考慮に入れて考えさせるようにする。</p> <p>・ 書けない児童については、前時までの学習で問題点として考えていることを振り返らせたり、自分の考えの持ち方をナビカードで振り返らせたりする。</p> <p>・ 児童個々の考え（これからの工業生産のポイント）を資料をもとに発表させる。</p>	<p>・ 教科書 p 90 ~ 109 のグラフ・写真等の資料</p> <p>・ 児童個々に準備した資料</p> <p>・ 発表で使用する資料</p> <p>・ ナビカード</p>

		<p>グループ発表をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表時間は質疑を含めて2分 ・友だちの考えをメモする <p>考えを修正する</p> <p>考えをまとめる</p>	
ま と め る	6 学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの工業生産について、学級全体でまとめる。 ・すべての人々の願いや地球環境を考えた製品作りが求められていることを単元のまとめとする。 	・ナビカード